

第10条 「理事および役員」第4節「役員」

幹事は必ず理事会メンバーとする。

副会長、会場監督を役員に含めることができる。

会長候補者は、指名時より遡って1年以上当該クラブに在籍しているのを条件とする。

Eクラブの項では、1つの地区に存在するEクラブは2つまでとする、を削除する。

新しい「手続き要覧」が2月に送付されてくる予定ですので、それから当クラブも改正を行っていきます。

ニコニコ箱

ありがとうございました

- 玉置 博康さん 会員の皆様のお陰で表彰されました。
- 八幡 建二さん 毎日あついですネ。
- 島 公造さん 美しい妻に美しい花を有難うございました。
- 田原 久一さん 野球はケガもなく無事終わりました。ご支援ありがとうございました。
- 松田 洪毅さん 村田会長、上中幹事様、役員の皆様、今年一年よろしくお願い申し上げます。頑張ってください！
- 山本 進三さん 本日は所用のため早退させていただきます。申し訳ありません。
- 村田 昌之さん 暑い夏、皆様健康第一です。
- 上中 崇司さん 本日のクラブフォーラム、各委員長様よろしく願いいたします。
- 佐藤 義記さん 先週、第2回目から休んでしまいました。今週よりまたがんばります。
- 阪神タイガース応援団一同

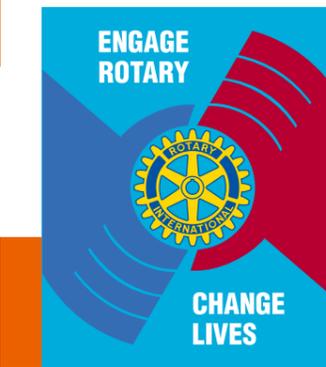
本日の累計 32,000円(計9名 10件)(誕生日献金 5,000円 その他 203,500円 累計額 208,500円)

クラブ名	日 時	内 容
和歌山城南R. C.	7月25日(木)	例会変更
和歌山南R. C.	7月26日(金)	卓話「星林高校における青少年交換留学生の取り組み」和歌山県立星林高校教諭 鈴木 裕子さん 2013-14年度青少年交換学生 上辻 あかりさん
和歌山中R. C.	7月26日(金)	卓話「断酒道場にて」和歌山断酒道場道場長 上村 千賀志さん
和歌山北R. C.	7月29日(月)	例会変更
和歌山アゼリアR. C.	7月29日(月)	卓話「音楽と私～還暦を迎えて～」松本 博会員
和歌山R. C.	7月30日(火)	卓話「免責の時代」音羽電機工業(株) 開発営業部長 池口 潤一郎さん
和歌山西R. C.	7月31日(水)	クラブフォーラム「会員増強」
和歌山東南R. C.	7月31日(水)	卓話「仏教に関する卓話」鷲の森別院 森田副輪番

本日の例会	7月25日(木)	次回の例会	8月1日(木)
●卓話「老化対策について」	名誉会員 駒井 則彦さん	●卓話「我が国を取り巻く安全保障環境と自衛隊の活動」	自衛隊和歌山中央協力本部 本部長 青木 泰憲 さん
●ピアノ演奏	中井 利枝さん	●前回の例会	7月18日(木)
夕陽のソネット(倉本 裕基)		●クラブフォーラム「地区協議会の報告」	
愛のかたち(倉本 裕基)		●ロータリーソング	岸裏 廣澄 ソング副委員長
		「日も風も星も」	

出席報告	会員数 42名(内出席規定適用免除会員15名)	乾 敦雄 出席委員長
7月18日(本 日)	27名	77.1%
7月 4日(メーキャップ後)	29名	80.6%
(欠席7名) 皆さん、出席してください。		

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日  
 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073)424-9392 例会日 木曜日 12時30分  
 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845  
 会報・広報委員会 亀田 直紀 後 亮 谷口 文利 笹島 良雄 吉増 亨



# 凛として原点に

2013~2014年度 和歌山東ロータリーのテーマ

## ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

2013~2014年度 国際ロータリーのテーマ

国際ロータリー 第2640地区 **和歌山東ロータリークラブ**  
 URL <http://www.werc.jp> E-mail [info@werc.jp](mailto:info@werc.jp)

2013年7月25日(木)  
 週報 / VOL.55 No.4  
 (通巻2597)

● 会長報告

村田 昌之 会長



本日はクラブフォーラムで後ほど地区協議会の報告をさせていただきます。さて、「風鈴の徳」というお話です。

「風鈴や風の間」に間に今日もまた」

私の祖父の句です。私の家は私が物心ついた頃はまだ田んぼとみかん畑の中の一軒家でした。夏は谷を吹き上げる風で結構涼しく、庭に日よけのテントが張り出ている、その縁先に風鈴が涼しげにチンチロチンチロと鳴っていたのをおぼえています。

「売り声もなく買手の数あるは音にしられる風鈴の徳」(江戸時代末期の狂歌)

江戸時代、天秤棒にたくさんの風鈴をぶら下げ、江戸の町を売り歩いた風鈴売りは風鈴が涼しげな音を響かせて客を呼ぶことから、大きな売り声をあげる必要がなかったのでしょう。その起源は中国で「占風鐸」(せんふうたく)だと云われていて風の向き、音の鳴り方で物事吉凶を占う道具であった様です。また、疫病を遠ざけるという由来もあったようで、まさしく「風鈴の徳」と云えましょう。

今日では、物売りの声すら懐かしく思い出されるデジタルの世の中の中の喧騒のただ中にありますが、涼しげにチンチロチンチロと鳴る風鈴の様に、私達ロータリアンも大そうに構えることなく、その徳で人々に安心と安らぎを与える、そんな徳の存在でありたいと思っています。私達はその木陰にすわることのないであろう木を植え続けています。そのことこそ価値があると信じて疑いません。

● 幹事報告

上中 崇司 幹事



下記の記録誌・案内状が届いています。

- ・海南西ロータリークラブ創立20周年記念誌・・・回覧
- ・2640地区より地区大会事務局開設の案内

## 2640地区委嘱状伝達式



奉仕委員会委員長・ロータリー情報規定委員会委員 **松田 洪毅さん**

# クラブフォーラム「地区協議会の報告」

## 会長部門

村田 昌之 会長

2013-2014年度国際ロータリー第2640地区の地区方針を確認しながらの勉強会となった。

以下述べます。

**R.I. テーマ**      ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を  
ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

**地区方針**      相互扶助      mutual aid

世界政治の混乱、経済の先行き不安、今こそ、メンバーと家族、共に働く仲間と地域社会に生きる人々との共生共助こそロータリーイズムの原点であることを確認する。

- ・ R. I. 方針の徹底
- ・ ガバナー卓話要請クラブへの訪問
- ・ 会長、幹事各グループ内クラブ個別懇談会の実施
- ・ 地区組織の簡素化、地区予算の見直し
- ・ 各クラブによるネット活用化の推進運動
- ・ 規定審議会採択の制定案と決議案の実行指導
- ・ ロータリー財団、地区補助金、各種補助金を使つての事業奨励
- ・ ロータリー財団への寄付の奨励
- ・ 米山記念奨学会への寄付の奨励
- ・ クラブ拡大
- ・ 会員増強作戦の実施
- ・ 地区会員全員による中学、高校への「出前卓話」  
(ロータリアンが履歴を語る「人生の栄光と挫折等」を要請する。
- ・ ロータリー設立記念日に合わせ、2014年2月23日に日本全国34地区で東日本大震災復興支援キャンペーン

## 地区目標

- ・ ストップザ会員減少  
地区全体で10%の増強  
各クラブ純増3名以上のお願い
- ・ ロータリー財団への寄付  
1人あたりUS\$200を目標
- ・ 米山記念奨学会への寄付  
1人あたり6,000円の普通寄付  
上半期3,000円    下半期3,000円  
(特別寄付を入れて1人あたり20,000円を目標)

**地区カラー**      ワインレッド

## 幹事部門

上中 崇司 幹事

ビデオ観賞と幹事マニュアルによる勉強会を行いました。

## 会員増強部門

松田 洪毅 委員長



2013年～2014年度の為の地区協議会は平成25年5月19日(日)スターゲートホテル6Fで開かれました。

私はクラブからの指名で、会員増強委員会として登録をしておりましたが、地区の奉仕委員長のお役目を頂いておりましたので奉仕プロジェクト部門別の司会を担当いたしました。

AM11:00より全体会議があり、久保ガバナーより国際協議会報告、次年度R.I. テーマ、次年度地区方針のお話。800名を超える参加者があり、久しぶりにロータリーのパワーを感じました。ガバナー報告の後、和歌山南R.C. 豊田会長より緊急質問がありました。また堺中R.C. からも同じような質問が出されました。質問の内容はよく聞こえなかったのでわかりづらかったのですが、いくつかありました。が、本会議場では話がつかず、和歌山南R.C. より参加ロータリアンに部門別会議の時に会長部門の方へ出席をしてほしいとの呼びかけがありました。

昼食交流会を挟んで、規定審議会報告の後、14:20より部門別協議会が開かれました。私は奉仕プロジェクトの司会を担当しておりましたので、会長部門へは行きませんでした。また私たち東R.C. は島前会長の方針で地区協議会は来年度の大事なクラブ運営方針を決めるので肅々と各部門別に参加するようにとの事で皆様それぞれの部門別協議会に出席をされました。

私が担当した奉仕プロジェクトは、国際奉仕・社会奉仕・職業奉仕・新世代・インターアクト・ローターアクト・青少年交換・青少年ライラと本来なら300名程の出席の予定が100人前後の出席で200人程は会長部門に流れてしまい、少しさびしい部門別協議会でした。大変残念に感じました。部門別の各委員長さんはそれぞれ大変な準備をしていたのであります。またこの協議会の為800人を超える人達をお迎えするのに大勢のロータリアンが大変な思いで準備万端進めて頂いていたと言う事も私達は知っておかなければなりません。

私達、和歌山東ロータリークラブはこのトラブルに冷静に十分に注意をして進んで頂く事を執行部の方々に望んでいます。

会員増強委員会の地区方針、目標はガバナーより ストップ・ザ・会員減少、地区全体で10%の増強、各クラブ純増3名以上のお願いとなっております。

以上、ご報告申し上げます。

## 雑誌・広報部門

角谷 芳伸 委員長



「ロータリーはクラブに始まりクラブに終わる」との主旨、従来からの広報活動をさらに充実させるために下記の方針を推進いたします。

- ・ 内部広報 雑誌「ロータリーの友」の必読推進。
- ・ 各クラブ雑誌広報委員会の活性化の推進。
- ・ 外部広報として公共イメージ向上のためメディア利用の促進。

以上、活動方針の推進にI.T.委員会と密接に協力し活動いたします。

## 地区ホームページの活用

- ・ ガバナー月信、地区奉仕活動、クラブ奉仕活動を適確にI.T.委員会と協力して、内部広報する。

・ロータリーの友の「是非皆さんにお読み頂きたい記事」の活用を広く各クラブの雑誌広報委員会に啓蒙する。

### R.I. 広報補助金申請中の計画

〔PR活動をし、社会に認識してもらう。〕

和歌山放送をキーステーションとしてRIの重要活動「ポリオ撲滅運動」の放送を計画中。

補助金決定後は10月24日世界ポリオデーにあわせて9.10.11月の3ヶ月間「ポリオ撲滅運動」を放送予定。

### ロータリー100年の森林（高野山）

内部広報として地区内クラブの新しいロータリアンに「ロータリー100年の森林」（高野山）緑化推進の広報をする。

（和歌山県との管理契約（10年）が来年できれるので、またお金が必要です。続ける必要がある。）

### 国際奉仕部門

田原 久一 委員長



世界社会奉仕プログラムと、各クラブが取組んでいる独自性のあるプログラムの実施をお願いし、ロータリー財団の地区、ワールド等各補助金も考えて頂く奉仕事業も奨励する。

### 社会奉仕部門

笹島 良雄 委員長(クラブ奉仕部門・地区増強委員(司会))



#### 1. 会の構成

- ・会員増強・維持委員会（飯岡典子委員長）
- ・雑誌・公共イメージ委員会（松澤政彦委員長）
- ・I.T.委員会（乾 一嗣委員長）

#### 2. 内容

角谷芳伸委員の報告通りです。

#### 3. 特記事項

- ・公共イメージ委員会で「ロータリー100年の森林」を取り上げて新人にPRします。
- ・和歌山放送で「ポリオ撲滅運動」を取り上げるのを計画中です。

地区協議会に御参加のある会員が部門別会議を欠席するよう呼びかけた為に、部門別会議の出席者が半数以下に減少し、会議の目的を十分に達せられず会議の担当者として辛いものがありました。

### 職業奉仕部門

赤井 雅哉 委員長



四つのテストを深く繰り返し奨励し、地域社会に生きる人々と共生・共助・相互扶助の心を持って活動する。

### 青少年部門

吉田 篤生 委員長



地区RYLAテーマは『地域の青少年と共にロータリーを実践しよう』です。

地域社会で素晴らしく顕著に活躍される青少年を見出して共にロータリー活動に参加していただく。青少年奉仕委員会はこれからのロータリーにとって最も重要な位置付けとして認識し、未来に向かって私たちロータリアンは実践活動を行う。

### ロータリー財団部門

山東 勝彦 委員長



インストラクターは大森豊地区財団委員長の指導で行われました。

ロータリー財団は皆様の寄付を資金とし、皆様のプログラム参加によって地元及び国際社会に貢献しています。

従来の方針、事業から7月1日より未来の夢（新制度）が実施されます。

財団といえば「教育的プログラム」という伝統がありましたが、今回の変更により「人道的プログラム」への申請も加わりました。「世界で良いことをしよう」という財団の標語のもとにロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」が財団の使命です。

ロータリー財団委員会の活動は、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、青少年奉仕に関連しますので、各委員会と連絡を密にし合同で活動しなごかなか財団員会で単独で事業を全うしようとしても無理のような気がします。皆様のご協力を節にお願い致します。

### 米山記念奨学部門

山東 勝彦 委員長

地区協議会への出席義務がありましたが、ロータリー財団と二兎追えず欠席をしましたので、後日当日の資料を入手するよう手配を致しました。

#### 委員会の任務

一、米山奨学会は皆様の寄付で成り立っています。年間20,000円いただいております。本当にありがとうございます。

一、地区主催の米山関係行事に参加し、奨学生との交流につとめる。

一、10月の米山月間に会員の事業への理解を促すため関係プログラムを企画する。

一、寄付増進、毎月地区委員会から送付される寄付金明細書で動向を把握し、寄付額が前年度を下回らないよう努める。

一、奨学生、学友との交流の促進と広報

米山記念奨学事業の特長は、民間外交として世界に平和の種子を蒔く、留学生への支援は未来に向かって平和の架け橋をかける奉仕活動です。

この委員会も皆様のご協力がなければなりません。よろしくご協力申し上げます。

### ロータリー情報規定部門

島 公造 委員長



2013年4月にシカゴにて規定審議会が開催されました。定款・細則の主な改正部分は以下の通りで7月1日から発行されます。

第5条 「五大奉仕部門」 新世代奉仕を青少年奉仕に改正。

第9条 「出席」第3節「出席規定の免除」

病気による欠席は出席率の計算には含まない。また、「65歳以上」という年齢制限を廃止。